

上海優科豪馬橡膠制品商貿有限公司 (YIP-SH) CSRLレポート

事業内容: 横浜ゴム製工業用品(輸入品・中国国産品)の中国国内販売

敷地面積: 280.66m²

従業員数: 16名(グループ会社兼務含む)

所在地: 上海市長寧区婁山関路83号 新虹橋中心3209-10室

相談・苦情などの受付窓口:

TEL: 021-6236-8811 FAX: 021-5206-7165

社長ご挨拶



五十嵐 稔

当社は2011年5月に設立された工業品の販売会社であり、上海日本総領事館のすぐ近くのオフィスビル32階で営業しております。

私たちよりも先行して操業を開始している工業品の生産会社は、主に日系企業をユーザーとして展開してまいりましたが、当社は中国ローカル企業への拡販が大きな使命です。中国国内生産が可能なものは国産品を、そうでないものは日本からの輸入で対応しておりますが、2014年末には杭州の新工場が完成し、いよいよ

今年からホースの国産が始まりました

歴史も浅く、まだまだ立ち立っている状況にはありませんが、中国国内グループ会社の力を借りて一日も早く立ち立するとともに、横浜ゴムの優れた製品を中国国内に素早く広げていきたいと考えております。

広い中国ですが、若手の営業スタッフが日々中国全土を飛び回っております。横浜ゴム製品に興味を持っていただけたら一報ください。宜しくお願いします。

組織統治

2015年度も会社方針に、下記を明記しています。

厳格遵守法律法規(厳格遵守社会准则!)

<コンプライアンスの絶対厳守(社会のルールは絶対守る!)>

また、この内容は労働契約書にも「法令順守」として記載しており、入社

時の新人教育から指導しています。

私たちは横浜ゴム(中国)有限公司の傘下であり、毎月定例でコンプライアンス委員会を実施し、情報の共有化を図っています。

人権

中国のお客さまや官公庁では、日本より多くの女性管理職を見かけます。当社は小さい会社で新規採用も多くはありませんが、募集を行う際の条件に性別は含まれていません。

女性の営業が国内を走り回っており、昨年の春には当社第一号の女性

課長が誕生しました。

また、障がい者の雇用も考えたいところですが、残念ながら実績はゼロです。

労働慣行

人の定着率が低い中国ですが、補充を含めた採用においては先に記載した通り、性別などの差別なく募集を行っています。

全社員でも20名未満という小さい会社では有りますが、ほかのグループ会社同様に各種規約類を整備した上で、中国の法律にのっとった労働契約を取り交わしています。

採用後は、短期間の集中研修で一通りの説明を行いますが、コンプライアンスといった重要なテーマに関しては、経営会議等の時間で勉強会を繰り返す様になっています。

また、当社には工場はありませんが、高層ビルの32階がオフィスであるため、新入社員教育の一環として緊急時の避難通路・避難場所等を周知させているほか、中国におけるホールディングカンパニーである横浜ゴム(中国)と連携をとり、常に災害時の対応などの情報を共有しています。

また、災害時に全中国のグループ会社がつながる連絡網をつくり、中

国国内での災害発生が全社員に即座に伝わる体制を整備しています。同時に中国への出張者を常に把握し、駐在員同様の連絡体制を整えています。

そのほか、上海にある上記ホールディングカンパニーとタイヤの販売会社とは、合同で健康診断や社員教育などを行っています。

人材の活躍推進

当社は小さい会社で新規採用も多くはありませんが、募集を行う際の条件に性別は含まれていません。

女性の営業も国内を走り回っており、一昨年の春には当社第一号の女性課長が誕生しました。

また、障がい者の雇用も考えたいところですが、残念ながら実績はゼロです。

環境

横浜ゴムが掲げている環境基本方針を念頭に置いて取り組んでいます。ただし、オフィスビルが賃貸であり、光熱費が家賃に組み込まれてしまっているため、データ取得ができない、またゴミの収集にあたっては分別が必要ないなどの問題があります。社内での自己満足にしかならないかもしれませんが、将来を見据えた意識付けという観点から省エネやゴミの分別といった活動を続けています。

また、上海の3社にて、PCや携帯電話・デジタルカメラ等の本体や周辺部品を専門に回収する業者と連携し、従業員の家庭からもこれらを集め、分別収集する活動も行いました。「販売」という本業を通じた取り組みとしては、横浜ゴムが推奨する環境に優しい製品の拡販に努めています。

公正な事業慣行

当社が販売目的に仕入れるのは全てグループ会社であり、こちらは問題ありませんが、販売に関しては中国に残っている習慣に危惧しています。公正な事業を行う上で必要不可欠なものが「コンプライアンス順守」であると考えています。

当社の方針にも「コンプライアンス順守」を掲げ、毎月行われる経営会議にて周知徹底を図っているほか、横浜ゴム（中国）が中心となったコンプライアンス委員会を毎月実施しています。

消費者課題

当社は代理店や商社を通じて販売する形態が多くなっていますが、実際に当社の製品を使っていただくユーザーへ直接訪問することを心掛けています。このことによりユーザーの生の声を聞き、素早く情報が得られるようにしています。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

会社の場所柄、直接地域社会とのかかわりは持ちにくいのですが、中国グループ会社の「千年の杜」活動や「麗江老君山の自然保護活動」に積極的に参加しています。これまでに村の生産活動の支援として、「蜂養護箱」を贈呈しました。

また、上海の3社にて、PCや携帯電話・デジタルカメラ等の本体や周辺部品を専門に回収する業者と連携し、従業員の家庭からもこれらを集め、分別収集する活動を行いました。

